

心ふれあう

ちょっといい話

おかやまのちょっといい話

シリーズ 26

※チラシは偶数月の第一日曜日にご覧いただけます。過去のシリーズはアーバンホールのホームページでもご覧いただけます。

かけがえのない贈り物

倉敷市の恒例イベントの一つ「瀬戸内倉敷ツーデーマーチ」に参加したことがあります。

きつかけは、もう他界したのですが、母からの誘いでした。腰を圧迫骨折し、1か月間の絶対安静から解放され、リハビリも終わったのを機にウォーキングに挑戦したいとのこと。歩くだけならお安い御用と、二つ返事で応じました。

後日、20kmコースに申し込んだと知らされ、困惑したのはいうまでもありません。

500mほど先のスーパーへ行くにも自動車を使う私が20kmを歩けるか。骨折が治ったばかりの70代の母と一緒に完歩できるか。どうしたものかと思索しましたが



あなたのアーバンホール

アーバンホール

快晴の朝、開会式場の倉敷市役所には県内外から多くの老若男女が集まっていました。想像以上の熱気に包まれ、気分が盛り上がったことを覚えていきます。出発式では来賓やスタッフの方々に見送られ、市役所を後にしました。

私たちがエントリーした「新熊野史跡コース」は大半が農道や土手道、あぜ道、山道などで、のどかな風景を眺めて歩くルート。最初の2時間くらいは機嫌良く歩いたでしょう。ところがだんだん雲行きが怪しくなり、昼食会場で折り返し地点でもある熊野神社に着く頃は雨脚も強くなり、疲れも倍増。

疲労と空腹と雨とのトリプルパンチに見舞われ、お弁当を食べながら「ここまでにしよう」ということになり、スタッフの方に交通機関で帰りたい旨を伝えました。しかしスムーズに市役所まで帰れる手段はなし。そうこうしているうちに雨も小降りになり、「もう少し頑張ってみましょう」とスタッフの方にも背中を押され、再び歩きだしました。どうしても歩けなくなったら、回収車に乗せてくれると言われて気が楽になり、何とかゴールイン。どのくらいの時間がかかったのかは思い出せませんが、ともあれ歩き切った達成感にひたり、帰途につきました。

あれから4年、自動車で界限を通るたびに母と一緒に歩いた日を思い出します。幹線道路を一本入ると豊かな自然が広がり、由緒ある史跡が点在していることを知れたのは思いがけない収穫でした。そして自信が一つ増えたのも何よりです。大げさかもしれませんが、20kmの完歩は今も私の自慢であり、ひそやかな誇りになっています。

気楽に参加したウォーキングでしたが、かけがえのない贈り物をいただきました。休憩所で声をかけてくださった地元の方々、途中で止めようと思った時に励ましてくださったスタッフの方々、そして20kmを歩く機会を作ってくれた天国の母に感謝しています。



親思う心にまさる親心

子が親を思うよりも、子を思う親の心のほうが深く大きいという意味です。思うたびにありがたみに感謝したいですね。

葬儀・法要・ギフト

皆様の『心ふれあう おかやまのちょっといい話』をお寄せください。

ご応募いただいた優秀な作品はアーバンホールのホームページ・チラシなどにてご紹介させていただきます。ご意見・ご感想もお待ちしています。またご応募いただいた方全員にささやかながら粗品を進呈させていただきます。◆応募先/アーバンホール「ちょっといい話」係 〒710-0841 倉敷市城南805-1 ◆記入事項/①住所②氏名③電話番号④年齢⑤エピソードご応募の方は1200文字程度(原稿用紙・ワープロいずれも可)にてお願い致します。尚、作品の返却はありません。